

東雲中学校校長室通信  
 文責 校長 渡邊 和彦  
 平成二九年七月五日発行第十一号

アート教室



右のように大分合同新聞にも取り上げて頂きましたが、土曜授業を利用してアート教室を開きました。講師の先生方は佐伯市教育委員会社会教育課のお陰で様々な方面から、その道のプロに来て頂いたのです。土曜日に授業を通常通り行えば、それはそれの意味のあることなんです。少しでも子どもたちに「楽しかった」と思ってもらえるよう、企画しました。段ボール

アートには佐伯の「さつき園」にいらつしやるハンディキヤップをお持ちの方も手伝いに来てくださいました。暑い中、一生懸命手伝ってくださいました。

プロの画家である絵画の谷先生は「好きなものを何でも思い浮かべ、文字にする↓それを紙粘土で立体にする↓その立体を絵にする」という面白い手順を示してくださいました。企業などで商品開発をするときの手法だそうですね。

チヨークアートの「えふみ」先生はもと国語科の教諭だった方、今は芸術家です。先生のアドバイスのもと作成し始めた子どもたちの作品は、先生の作品に勝るとも劣らない出来、びつくりしました。

私たちは芸術に対し「無理」とあきらめているのかも知れません。だけど、きつかけや手順や適した道具を得れば、案外、「出来る」のかも知れません。そして、楽器にしろ絵にしろ、書道にしろ彫刻にしろこれらの趣味は一生にわたって私たちが豊かにしてくれます。「今からでも遅くない」と自分に言い聞かせています。

作曲家の高槻真裕さん

数日前に、大分合同新聞などの新聞に折り込まれていた広告をご覧になつて頂けたでしょうか。「チャリティー・東九州音楽祭」というタイトルのチラシです。東京で活躍する有名な作曲家さんが、楽曲を提供した仲間達とチャリティーを目的として、佐伯でコン

サートを開くという内容です。なんとこの作曲家さんは東雲小学校、中学校の卒業生、皆さんの先輩の



(ご年配の方々にとつては後輩の)「高槻真裕」たかつき まさひろ」さんなのです。高槻さんについてはインターネットなどで検索して頂くとたくさんの方がわかるでしょうから、ここでは省略しますが、すごい方です(笑)私も母校の校長ということで実行委員会のメンバーの一人です。

佐伯の活性化のために東雲の卒業生が頑張っている。胸が熱くなります。ポスターは振興局や公民館様々な場所に貼られていると思います。私にとつても先輩である方が、懐かしい「フィンガー5」の「晁」さんや、「ボヘミアン」の「葛城ユキ」さん「チャチャチャ」の「石井明美」さん、「大都会」を歌った元「クリスタルキング」の「田中昌之」さんと共に佐伯にやってくる。考えるだけでワクワクします。関心のある方、中学校の私(渡邊)までお問い合わせください。